

# 業務状況説明書

(令和2年10月1日から令和3年3月31日まで)

富士見市下水道事業

## 1 令和2年度下半期の状況

### (1) 事業の概況

#### ア 業務

令和2年度末における水洗便所化人口は、109,612人で、前年度末に比べ509人の増加となっています。

1日平均処理水量は819 m<sup>3</sup>の増加、有収水量は320,377 m<sup>3</sup>の増加となっています。

区 分 \ 年 度	令和2年度 (年度末)	令和元年度 (年度末)	比 較	
			増 減	増減率 (%)
水洗便所化人口 (人)	109,612	109,103	509	0.47
1日平均処理水量 (m <sup>3</sup> )	35,969	35,150	819	2.33
有 収 水 量 (m <sup>3</sup> )	10,704,479	10,384,102	320,377	3.09

#### イ 建設改良事業

公共下水道の汚水事業につきましては、新河岸第12-2-1処理分区（鶴瀬東2丁目地内）の管渠築造工事を実施しました。雨水事業につきましては、江川左岸第七ノ一号雨水幹線（鶴瀬西2丁目地内）の改修工事を実施しました。

なお、公共下水道の浸水対策調査検討業務委託、山室ポンプ場更新工事につきましては、関係機関との協議や電動機の製作に不測の日数を要したことなどから、令和3年度に繰越をいたしました。

次に、特定環境保全公共下水道の新河岸第14汚水管渠築造工事（第1工区）、新河岸第16-1-1汚水管渠築造工事（第1工区～第3工区）、舗装本復旧工事（特環その1～特環その2）につきましては、沿線事業者の出入口確保のための調整、地下埋設物の布設替え等や関係機関との協議に不測の日数を要したことなどから、令和3年度に繰越をいたしました。

## (2) 経理の状況（税込）

下半期における経理の状況は、次のとおりです。

## ア 収益的収入及び支出

(単位:千円)

科目	予算現額	執行額			執行率 (%)	
		上半期	下半期	計		
収入	事業収益	1,889,720	1,017,199	878,728	1,895,927	100.33
	営業収益	1,322,346	825,000	528,260	1,353,260	102.34
	営業外収益	567,373	192,027	350,468	542,495	95.62
	特別利益	1	172	0	172	17,206.00
支出	事業費	1,611,066	237,282	1,293,081	1,530,363	94.99
	営業費用	1,478,399	172,848	1,233,641	1,406,489	95.14
	営業外費用	131,617	64,432	59,425	123,857	103.27
	特別損失	550	1	16	17	3.00
	予備費	500	0	0	0	—

## イ 資本的収入及び支出

(単位:千円)

科目	予算現額	執行額			執行率 (%)	
		上半期	下半期	計		
収入	資本的収入	1,538,186	68,997	620,341	689,338	44.82
	企業債	1,259,600	0	484,900	484,900	38.50
	国庫(県)補助金	211,820	0	77,890	77,890	36.77
	負担金	66,766	68,997	57,551	126,548	189.54
支出	資本的支出	2,476,029	1,136,965	563,075	1,700,040	68.66
	建設改良費	1,764,927	790,496	203,947	994,443	56.34
	企業債償還金	710,102	346,469	359,127	705,596	99.37
	予備費	1,000	0	0	0	—

## 2 令和3年度予算の概要

### (1) 予算編成概要

下水道事業を取り巻く環境は、人口増加の鈍化や生活様式の多様化、節水意識の定着やトイレなどの節水型機器の普及等により、長期的には主たる下水道事業収益の使用料収入の減少が懸念されます。一方で、布設から長い年月が経過した管渠やポンプ施設等の老朽化が進んでおり、これらの施設の更新や耐震化に多大な費用が必要となるため、今後の経営状況はますます厳しいものとなることを見込まれます。

令和3年度の公共下水道汚水事業については、柳瀬第9汚水管渠築造工事等と前年度工事箇所舗装本復旧工事などを実施するとともに南畑地区について引続き計画的に整備促進推進を図るほか、業務委託として老朽化した管渠や流域接続点ゲートの更新工事の実設計画を実施します。

次に、公共下水道雨水事業については、鶴瀬駅西口土地区画整理事業地内の管渠築造工事を実施するほか、業務委託として別所雨水ポンプ場の更新工事、耐水化計画の策定及び浸水対策の基本設計業務などを実施します。

今後も市民生活の安心・安全のため、都市環境の改善を図り、都市の健全な発展と公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全に資するため、計画的に整備を進めるとともに維持管理に努め、経費の削減はもとより、健全で効率的な経営を推進するための予算を編成しました。

### (2) 業務の予定量

区 分 \ 年 度	令和3年度	令和2年度	増減
年間処理水量 (m <sup>3</sup> )	13,380,164	12,194,602	1,185,562
水洗化世帯戸数 (戸)	56,765	56,224	541
管渠布設距離 (m)	2,180	3,700	△1,520

### (3) 予算規模

第3条予算（収益的収入及び支出）の収入は、前年度比5.7%減の17億8,265万4千円、支出は、前年度比4.2%増の16億3,348万2千円で、収支差引で1億4,917万2千円の黒字を見込んでいます。

第4条予算（資本的収入及び支出）の収入は、前年度比32.7%減の5億9,648万7千円、支出は、前年度比20.4%減の13億4,964万5千円となり、収支差引では7億5,315万8千円の赤字が見込まれますが、この赤字分については、損益勘定留保資金等で補てんするものとしております。

## (4) 収入支出明細書

## 収 益 的 収 入 及 び 支 出

## 収 入

(単位：千円)

款 項	目	予 定 額	備 考
下水道事業収益		1,782,654	
営業収益		1,326,639	
	下水道使用料	1,017,337	下水道使用料の予定額を計上
	他会計負担金	309,172	汚水及び雨水処理負担金等の予定額を計上
	その他の 営業収益	130	下水道指定工事店指定手数料等の予定額を計上
営業外収益		456,014	
	受取利息	182	定期・預金利息の予定額を計上
	他会計補助金	110,000	一般会計からの補助金の予定額を計上
	長期前受金戻入	339,307	長期前受金の戻入予定額を計上
	雑収益	1,775	勝瀬原調整池及び桜井雨水幹線占用料等の予定額を計上
	補助金	4,750	下水道施設の維持管理に対する国庫補助金の予定額を計上
特別利益		1	
	過 損 益 年 度 損 益 修 正 益	1	過年度損益修正益を計上

## 支 出

(単位：千円)

款 項	目	予 定 額	備 考
下水道事業費用		1,633,482	
営業費用		1,511,446	
	管渠費	611,304	管渠の維持管理に要する経費を計上
	業務費	50,413	使用料の徴収業務等に要する経費を計上
	総係費	32,416	下水道事業の総括的経費を計上
	水洗化促進費	270	水洗化促進に要する経費を計上
	減価償却費	817,043	固定資産の減価償却費を計上
営業外費用		120,986	
	支払利息	110,686	企業債及び一時借入金の利子を計上
	雑支出	300	過誤納に伴う還付金等(過年度分)を計上
	消費税及び 地方消費税	10,000	消費税及び地方消費税納税予定額を計上
特別損失		550	
	過 損 益 年 度 損 益 修 正 損	550	過年度損益修正損を計上
予備費		500	
	予備費	500	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位：千円)

款 項	目	予 定 額	備 考
資 本 的 収 入		596,487	
企 業 債		514,200	
	企 業 債	514,200	下水道施設の建設に対する企業債の予定額を計上
国庫(県)補助金		33,300	
	国庫(県)補助金	33,300	下水道施設の建設に対する国庫補助金の予定額を計上
負 担 金		48,987	
	負 担 金	48,987	受益者負担金及び一般会計負担金等の予定額を計上

支 出

(単位：千円)

款 項	目	予 定 額	備 考
資 本 的 支 出		1,349,645	
建 設 改 良 費		683,104	
	建 設 総 係 費	84,666	下水道建設事業に要する事務費を計上
	公 共 下 水 道 道 建 設 事 業 費	131,012	公共下水道の建設に要する経費を計上
	特 定 環 境 保 全 公 共 下 水 道 建 設 事 業 費	362,000	特定環境保全公共下水道の建設に要する経費を計上
	流 域 下 水 道 事 業 費	105,426	流域下水道事業建設負担金を計上
債 還 金		665,541	
	企 業 債 債 還 金	665,541	企業債元金の償還金を計上
予 備 費		1,000	
	予 備 費	1,000	